

園だより 7月号

「あそびのとき」

芝浦アイランドこども園
平成29年7月1日発行

夏の夜空を見上げると、東の方に明るい3つの星が三角形を描いて輝いている姿が見えます。はくちょう座のデネブです。天の川にそって南の方角にわし座のアルタイル（ひこ星）、こと座のベガ（おりひめ星）が輝いています。7月7日、1年に1度だけ、七夕の夜に天の川を挟んで愛し合う2人が会うことができるという七夕伝説、ひこ星とおりひめ星です。1等星のデネブとアルタイル、0等星のベガを結んで「夏の大三角」と言われています。ぜひ華やかな花火に彩られる夏空だけでなく、晴れた日の夜空を見上げ、遠く宇宙に輝く星を観察してみてください。

さて、これから夏本番となり、むし暑さで眠りにくい夜もでてきます。暑苦しい夜だけでなく、夏休みで休日が続くとつい寝るのが遅くなり、「休日だから起きるのも遅くていいか」という気持ちになりがちです。大人だけでなく、子どもたちの睡眠時間にも乱れがでてくることも少なくありません。睡眠不足は、子どもの園生活にも影響を与えることがあります。以前のことで、休み明けに「眠たいと言って、危ないので、保健室で少し休ませてください」と活動に入れずに保健室に連れられてくる子どもがいました。



睡眠を十分にとることは、乳幼児期の子どもにとって、とても大切なことです。古くから“寝る子は育つ”といわれてきましたが、事実のようです。それは、睡眠時に生成され、分泌される“成長ホルモン”の働きが大きいからです。この“成長ホルモン”は、毎日入眠後2時間前後に一番多く分泌され、それにより骨の細胞分裂が促され骨を伸ばし身長を伸ばし骨が強くなります。また、成長ホルモンの分泌がしっかり行われると脳の疲れの回復も促され、集中力・記憶力など知能を高める作用もあるということです。子どもたちの成長のためにも、生活リズムが整えられるよう、夏休みの期間も早寝・早起きを心がけていきましょう。

(園長 宇野 雪枝)

3日(月) 安全指導・プール開き

4日(火) 体力向上プログラム 5歳児

5日(水) さわやか体育祭

6日(木) たなばた誕生会

7日(金) 4歳児英語

7(金) - 8(土) 5歳児キャンプ

11日(火) 消火避難訓練

13日(木) カウンセリング/ほっとするコーヒーやさん

19日(水) 体力向上プログラム(3-5歳児)

20日(木) 終業式

21日(金) 幼児教育夏季休暇

22日(土) 夕涼み会

12日・26日(水) 園庭開放

13日(木) こども園で遊ぶ



内科健診 12日(水) 0.1歳児
26日(水) 0.2歳児
身体測定 10日(月) 0~2歳児
13日(火) 3~5歳児

ほっとするコーヒーやさん

7月13日(木) 16:30~19:00
2F 1-1-1で
お待ちしております! 参加無料!



5歳児さんが、準備に準備を重ねてきたキャンプが7月7日(金)・8日(土)にYMCA 山中湖センターで行われます。雄大な自然の中での生活は、子どもたちにとって興味と興奮と探究心にあふれた2日間になります。澄み切った草木の中に佇む大きなキャビンで過ごします。広いキャンプ場で身体を十分に動かし、五感を使って過ごしてきます。今まで気づかなかった自分に気づいたり、友だちの良さを見つけられたり、人との違いを知ったりといろいろな体験を通し、心も体も豊かに育んで大きな成長の機会になります



- ①キャンプでの自然体験 …… 自然に親しみ理解を深める。
- ②社会性を学ぶ …… 人と人との関わり方を体験的に学ぶ。
- ③生活体験 …… 生活を体験的に学ぶ。
- ④チャレンジ体験 …… 課題を克服する。

◇ 今月の教育・保育目標 ◇

- 0歳児：沐浴や温水あそびを通して、心地よい感触を楽しむ
思いや欲求を受け止めてもらい、安心して過ごす
- 1歳児：夏の遊びの中で、水や泥などの感触を楽しむ
保育者と一緒に自分で簡単な身の回りのことをやろうとする
- 2歳児：保育者や友だちと水・砂・泥などの感触を十分に味わいながら、夏ならではの遊びを楽しむ
保育者に見守られながら、身の周りのことをやろうとする
- 3歳児：保育者や友だちと一緒に水や砂・泥の感触や心地よさを味わい、全身あそびを楽しむ
水着の着替え等の身支度を保育者に見守られている中で、積極的にやってみようとする
- 4歳児：友だちや保育者と一緒に夏の遊びを十分に楽しむ
様々な遊びの中で、自分の思いを伝え、関わりを楽しむ
- 5歳児：水遊びを楽しむなかで、水の感触や心地よさを味わう
キャンプ活動を通して、いろいろなことに挑戦しながら自信をもち、友だちとの関係を深めていく
- 一時保育：水や泥に触れ感触を楽しむ
衣服の着脱に興味を示し、自分でしてみようとする気持ちが芽生える



5月30日に第1回子育て育児講座「グローバル化が進む社会で備えておきたい子どもとの向き合いかた」と題して、畠山佳子先生(文学博士・応用言語学)に講演いただきました。

先生は、パーレーン王国大使夫人であり、2歳児のお子さんを子育て中です。お母さんの気持ちも十分に理解してくださっているお話からは、多くの学びを得られました。

グローバル化社会の中で大切なことはたくさんあるけれど、これからの子どもたちには、①もっと自由にどんな状況にも対応できる柔軟さを身につける。②目の前の物事をもっとしっかり見る。③選び抜く力をつける。こういうところを大事に育てていって欲しいという講演内容でした。また、親の姿を顧みて「お子さんに対してイラッ! またはモォーッ! となる時は、どのような時ですか?」という質問では、子どもの都合(せい)ですか? あなたの都合(せい)ですか?、というような、日ごろ意識していないところを深く考えてみる機会になりました。